

文部科学省 共同利用・共同研究システム形成事業～学際領域展開ハブ形成プログラム～  
「宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結ぶ超学際ネットワーク形成」キックオフ研究会

日時 2025年2月27日（木）13:00-17:30

会場 名古屋大学 研究所共同館II 3階ホール（ハイブリッド）

Zoom <https://us02web.zoom.us/j/89440914249?pwd=TS1yo273xgUSqOeawg0FfvEhOwiDWi.1>

ミーティング ID: 894 4091 4249

パスコード: 155801

趣旨 名古屋大学宇宙地球環境研究所は、国立歴史民俗博物館、山形大学高感度加速器質量分析センター、九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、データサイエンス共同利用基盤施設、名古屋大学デジタル人文社会科学推進センターを参画機関として、共同利用・共同研究システム形成事業～学際領域展開ハブ形成プログラム～「宇宙地球環境科学と歴史学・考古学を結ぶ超学際ネットワーク形成（TranSEHA）」を令和6年度から開始しました。このTranSEHAプログラムは、激甚災害と年代測定、考古地磁気研究、太陽地球環境史、文理融合データベース研究開発の4つのグループが中心となり、超学際ネットワークを形成することにより、持続的な発展型社会の形成と宇宙災害や地震火山災害への備えに貢献するとともに、次世代を担う国際人材を育成することを目指します。令和6年度から10年間の長期に渡るプロジェクトの初年度ということで、本事業の今後の飛躍的発展のための土台作りとして、キックオフ研究会を開催します。

<プログラム>

|             |                               |   |
|-------------|-------------------------------|---|
| 13:00       | 塩川和夫 ISEE所長                   | 挨拶・TranSEHAプログラム紹介  |
| 13:10       | 南 雅代 OPTN室長                   | TranSEHAプログラム概要説明   |
| 13:20       | 三好由純/門倉 昭<br>田中良昌             | 文理融合データベース研究開発グループ活動紹介<br>「超高層大気データベース開発の事例紹介」  |
| 14:00       | 大野正夫/南 雅代<br>北原 優             | 考古地磁気研究グループ活動紹介<br>「ベトナムにおける考古地磁気永年変化曲線の構築と遺跡の年代推定への応用」                               |
| 14:40-14:50 |                               | 休憩  |
| 14:50       | 三宅英沙/坂本 稔<br>平峰玲緒奈            | 激甚災害と年代測定グループ活動紹介<br>「樹木年輪を用いた災害史研究」  |
| 15:30       | 早川尚志/川本悠紀子<br>Nicholas Larsen | 太陽地球環境史グループ活動紹介<br>「Study of the space weather effects during strong solar eruptions」 |
| 16:10       | 南 雅代                          | TranSEHAプログラムについての意見交換  |
| 16:30       | 塩川和夫                          | まとめ   |

<ISEE施設見学>

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| 16:45       |  | 研究所共同館 I, II での見学<br>屋久杉樹木年輪、試料処理ラインなど |
| 17:00-17:15 |  | 古川記念館へ移動                               |
| 17:15       |  | 古川記念館での見学<br>タンデム加速器質量分析計              |